



# GOOD NEWS と きの こ え



た。二〇二〇年を迎えた時、誰が今の状況を想像することができたでしょうか？今も、世界の各地で多くの人々が新型コロナウイルスの大流行に苦しんでいます。すでに、約一千七十万もの人が感染し、約五十一万もの人々が命を落とされました。

た。二〇二〇年を迎えた時、誰が今の状況を想像することができたでしょうか？今も、世界の各地で多くの人々が新型コロナウイルスの大流行に苦しんでいます。すでに、約一千七十万もの人が感染し、約五十一万もの人々が命を落とされました。

た。二〇二〇年を迎えた時、誰が今の状況を想像することができたでしょうか？今も、世界の各地で多くの人々が新型コロナウイルスの大流行に苦しんでいます。すでに、約一千七十万もの人が感染し、約五十一万もの人々が命を落とされました。

## War Cry

### 8月号

福音版  
2020  
August  
No.2804

二〇二〇年 八月一日発行

明治二十八年創刊

福音版・毎月一日発行

広報版・奇数月十五日発行(除く七月)

<https://www.salvationarmy.or.jp>

## すべての痛みが取り去られる日

ピーター・ホワイト

二〇二〇年を迎えた時、誰が今の状況を想像することができたでしょうか？今も、世界の各地で多くの人々が新型コロナウイルスの大流行に苦しんでいます。すでに、約一千七十万もの人が感染し、約五十一万もの人々が命を落とされました。

た。二〇二〇年を迎えた時、誰が今の状況を想像することができたでしょうか？今も、世界の各地で多くの人々が新型コロナウイルスの大流行に苦しんでいます。すでに、約一千七十万もの人が感染し、約五十一万もの人々が命を落とされました。

た。二〇二〇年を迎えた時、誰が今の状況を想像することができたでしょうか？今も、世界の各地で多くの人々が新型コロナウイルスの大流行に苦しんでいます。すでに、約一千七十万もの人が感染し、約五十一万もの人々が命を落とされました。

た。二〇二〇年を迎えた時、誰が今の状況を想像することができたでしょうか？今も、世界の各地で多くの人々が新型コロナウイルスの大流行に苦しんでいます。すでに、約一千七十万もの人が感染し、約五十一万もの人々が命を落とされました。

た。二〇二〇年を迎えた時、誰が今の状況を想像することができたでしょうか？今も、世界の各地で多くの人々が新型コロナウイルスの大流行に苦しんでいます。すでに、約一千七十万もの人が感染し、約五十一万もの人々が命を落とされました。



### 世界をみつめて

〈日本〉ドミノピザ様からプレゼント  
○5月19日(火)、栃木県佐野市にある救世軍佐野保育園及び佐野こどもクラブは、ドミノピザ佐野茂呂山店様から、おいしいピザのプレゼントをいただきました。



〈全世界〉新型コロナウイルス感染拡大に対する取り組み(続報)

●日本では、

○社会福祉法人希望館(群馬県高崎市・児童養護施設、高齢者介護施設を運営)に、マスクを1,000枚、社会福祉法人潤青会(同藤岡市・特別養護老人ホーム「真ほろぼ」を運営)に200枚、医療法人秋山会両毛病院(栃木県佐野市・写真下)に500枚お届けしました。



は毎年、受付にミニ社会鍋を設置して、社会鍋募金のアピールをしています。また、山陽介護サービスセンター通所介護事業所(長野県長野市)に、40枚の手づくりマスクとアクリルタワシをお届けしました。

の施設は、昨年の台風19号で被害を受けた豊野町から移転し、新たなスタートを切って、新型コロナウイルス感染症の影響下でも、高齢者の方々を訪問し、サポートしています。

○6月23(火)、24日(水)、東京・神田小隊(教会にあたる)を会場に、アルバイトができなかったり、保護者の収入減の影響を受けたりしている困窮学生支援と栃木県那須の農業事業者支援を兼ねた食品支援をおこないました。

地元神保町すずらん商店街様や、千代田区社会福祉協議会様などのご協力やご紹介、SNSによって案内されました。リモート授業の合間の学生をはじめ、難民支援や子ども支援の団体を通じて、必要を覚えている方々に、食品200セットをお渡ししました。



この食材手配のために、那須にあるChus様が協力してくださりました。

●世界各地でおこなわれている衛生用品及び食品支援の様子

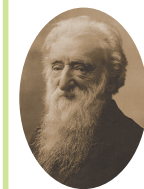


(写真上より)  
・ロシアでは戸別訪問での支援  
・バーレーンでは労働者宿舎を支援  
・韓国の救世軍は、モンゴルに支援品を届けた(2枚)  
・リトアニアでの支援者のいでたち

## 救世軍とは? What is The Salvation Army? 心は神に 手は人に Heart to God, Hand to Man

救世軍は、英国ロンドンに国際本部を置く、世界131の国と地域で活動するプロテスタントのキリスト教会です。1865年、英国のメソジスト教会の牧師だったウイリアム・ブースによって始められ、家のない人々、仕事に就けない人々、アルコールの悪影響下にある人々、搾取される女性や顧みられない子どもたち、災害に遭った人々などに助けの手を伸べつつ、神様の愛を伝えてきました。

日本での働きは、1895(明治28)年に始まり、伝道の拠点である小隊(教会にあたる)を開設。廃娼運動、失業者対策、病院や結核療養所の設立、児童や女性の保護、アルコール依存症者回復支援など、時代にさきがけて、様々な働きを興してきました。日本人で最初に救世軍士官(伝道者)となったのは山室軍平です。キリスト教界及び医療・社会福祉分野における先駆者の一人にも数えられています。



発行日及び定価  
 福音版・毎月一日発行  
 広報版・奇数月十五日発行(除く七月)

定価  
 福音版 一部 四〇円  
 広報版 一部 一〇〇円  
 クリスマス特集号(十二月一日号) 一部 一〇〇円  
 振替 〇〇・八〇・五四〇〇

発行兼印刷人 救世軍  
 代表者 ケネス・メイナード  
 編集人 寺澤 眞由子  
 〒101-0051 東京都千代田区  
 神田神保町一丁目一七  
 電話 東京(03)3337-0881  
 印刷所 救世軍本営  
 ピーアンドエス

(取扱支部)  
 救世軍は、統一協会、エホバの証人、モルモン教ではおられません。これらの問題ではお話しは、右救世軍にご相談ください。

聖書は新共同訳を使用しています © 共同訳聖書実行委員会 © 日本聖書協会





(写真上) 英国で開催されたインターナショナル・スタッフ・バンド(救世軍国際本部所属のブラスバンド)120周年記念行事にJSBが参加(2011年。ツアー用写真より)(写真下)メール上の友人だったオーストラリアのイアン・バートン夫妻が来日し、初対面。「(2011年の)JSBからの感動を記念して」とJ.Harley作の絵をくださった(2017年6月)

その時以来、救世軍へ出入りするようになりましたが、動機は、実に真剣かつ切実なものでした。「プロでもない彼らの演奏が、プロの音楽家の演奏のような、あるいはそれ以上の技術と感動を伝えているのはなぜ? どうして彼らにそのような演奏ができるのか? その理由と原動力は何なのか?」

救世軍の人々は、なぜか私がクリスチャンでもないのに参謀楽隊の練習に参加することや、一緒に演奏することを許してくれました。けれども、時間の経過とともに、うれしい幸せな気持ちや経験の反面、心の中でこうしていいのよ、と感じるようになってきました。

そんな、ある春のことです。イエス・キリストが十字架の死から復活されたことを祝うイースターの集いに参加しました。それは、首都圏のキリスト教会が協力して日比谷公園大音楽堂で開催したものでした。参謀楽隊が演奏で参加し、私も演奏に加わっていました。集いの終わりが、説教後の祈りの時間でのことでした。そっと目を開いて周りを見ると、たくさんの人たちが(自分と年齢の近い青年たちも)が、次々に座席からステージの下に来て祈っていました。ある方は涙を流しながら、その光景を目の当たりにした私は、「私が何者であるかにか

かわらず、これまで神様からたくさんの祝福や招きをいただいていた。そして、多くのクリスチャン方が祈っていてくださったのだ」という思いが、まさに「電撃が走る」ように示される初めての経験をしました。その日以来、自分と神様との関係を考えるようになって、それから一年ほどして、「私は世の中で言われるような特別悪いことなどしていないけれど、私の罪のために十字架で死んでくださったイエス様を信じ、心の中の汚い部分をきれいにしたい。罪の赦しの必要に迫られ、清瀬小隊(当時、清瀬病院の中の会堂で礼拝していた)に祈る場所として設けられていた「恵の座」と言う場所を祈り、イエス様による救いを体験しました。

社会人となって三年間ほど、救世軍清瀬病院で医療事務の仕事をした後、救世軍本営で音楽の働きのスタッフとして受け入れられ、また、清瀬小隊所属のブラスバンドの楽長や、参謀楽隊(後にジャパン・スタッフ・バンドと改称)のメンバー、そして楽長となり、二〇一二年まで楽長を務めました。救世軍の音楽活動を通して、私自身がそうであったように、音楽愛好家や奏者、聴衆が神様に出会うように、また、救世軍の音楽を向上させたい、と願って邁進してきました。信仰の世界にいる仲間に対して、そうでない友人・関係する方々に対する時にも、まず神様に祈って、神様が人々の魂を愛しておられるように、丁寧な人間関係を持ちたいと願っていました。神様の前に悔い改める気持ちに引

き戻されたことも何度もありました。また、救世軍で教えられた「救わんために救われたり! (人々を救いに導くため救われた)」という気持ちで、すべての出会いの中に、神様の導きを信じて歩んできました。不思議なことに、楽長引退後からお招きをいただき、毎年、あるバンドの定期演奏会企画「救世軍音楽特集」の練習と本番に協力させていただいています。当初躊躇していましたが、自分が信仰に導かれた原点のような働きなので、神様へのお礼のチャンスと受け止めて交流を続けています。

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです」(テサロニケの信徒への手紙一5章16~18節)

この部分を封書か葉書に貼り、裏面の救世軍にお送りください。

### 「救世軍の演奏の原動力は何なのか」と救世軍に通い始めたところ……

「プロでもない彼らの演奏が、プロの音楽家の演奏のような、あるいはそれ以上の技術と感動を伝えているのはなぜ? どうして彼らにそのような演奏ができるのか? その理由と原動力は何なのか?」

「いつか喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです」(テサロニケの信徒への手紙一5章16~18節)

### 信仰の体験談 あかし 証言のページ



# キリストを知る

<プロフィール> 救世軍本営(本部)に属するブラスバンド「ジャパン・スタッフ・バンド(略称JSB。前身は参謀楽隊)」にメンバー、楽長として40年間所属。JSB楽長時代には、バンドを率いて、国内各地はもとより、海外では、ニュージーランドや英国での演奏ツアーもおこなった。救世軍清瀬小隊(教会にあたる)所属。(写真右・救世軍の楽曲に取り組むブラスバンドの指導時に)



左ページのイアン・バートンさんが管理・運営するこのサイトでは、個人使用の目的で救世軍音楽を聞くことができます、ご紹介します(鈴木)



ブラスバンド指導者 鈴木 肇さん

### 初めて災害支援を受ける側、支援する側の両方の立場になりました

八年前の現役引退を機に東京を離れて館山に転居しました。豊かな自然の中、日々神様の造られた豊かな恵みを感じています。と同時に、自然の厳しさも実感しています。昨年の台風15号直撃後、何日も停電が続き、民家や商店、学校等に大きな被害が出ました。今も多くの屋根にブルーシートがかけられています。台風後に、初めて被災者として救世軍の緊急災害支援チームを迎え、同時に私も救世軍の信徒の一人として物資配布や移動調理車で提供する立場になりました。今は新型コロナウイルスの影響下にあります。これまで世界中で経験したことのないことが次々と続く中で、改めて、私たちを支え、生かしてくださる神様の大きさを考える毎日です。

### トランペット奏者を目指す中で出合った救世軍の奏でる音楽

私の家は、熱心な宗教観のある家ではありませんでしたが、慣習として、仏壇に毎朝先祖へのお線香と小さな椀のご飯とお水を供える中で育ちました。キリスト教については、何か外国の良さというな宗教・道徳世界のよう

に感じていました。高校時代、プロの演奏家を目指し、多くのトランペット奏者を育成しておられた中山富士雄先生(後に東京藝術大学名誉教授となられた)のレッスンに通い始めました。中山先生は時々、レッスンを待つ生徒たちに、少し昔のレコードなどで、トランペットやホルネットのソロ、ブラスバンドの演奏を聴かせてくださいました。その中で、救世軍のブラスバンドやソリストによる感銘深い演奏に出会いました。先生は、「君たちはこのメロディーを知っているかな?」とニコニコしてピアノに向かい、そういつた曲のテーマである賛美歌を弾きながら「これらは救世軍の賛美歌で…」などと語り始められたものでした。そんなことから「救世軍の演奏する音楽、演奏者の技術、表現のすばらしさはいったいどこから来るのだろうか?」と思い始めました。そして、次第に救世軍、キリスト教とは? と思うようになったのでした。



救世軍のブラスバンドに加わったところ(1973年。2列目左から4人目)

「救世軍創立記念野外コンサート」でした。そして、救世軍の参謀楽隊(本部に所属するブラスバンド)とその楽長、また、自宅に近い救世軍清瀬小隊(教会にあたる)の責任者に紹介されました。後に、中山先生も幼い時に、東京・芝にあった救世軍の小隊に通ってホルネットを習い、しばらく救世軍バンドに加わっておられたことを聞きました。